

令和2年度使用小学校用教科書

選定資料

国語（書写）編

令和元年6月

愛知県教育委員会

○ 学習指導要領の目標で示された資質・能力の育成を図ることができること

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

○ あいちの教育の基本理念に照らして適切な事項が示されていること

「自ら高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現
(「あいちの教育ビジョン2020」より)

教科書選定の観点・着眼点（国語《書写》）

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法にのっとった学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。
2 「あいちの教育の 基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。
内 容	(1) 内容の選択 ア ねらいと内容は妥当であるか。 イ 教材の内容に工夫がされているか。
	(2) 内容の程度 ア 内容の程度は、学年の発達段階や生活経験に合っているか。 イ 書体及び用筆等は、児童の学習に適しているか。 ウ 基礎的な技能や態度について配慮されているか。 エ 補充的な学習や発展的な学習等の内容は適切であるか。
	(3) 内容の構成 ア 内容の系統性・分量はどうか。 イ 硬筆と毛筆との関連のさせ方はどうか。 ウ ねらいに迫るための補助的な資料や練習する上での工夫はどうか。 エ 伝統的な言語文化に親しめるよう配慮されているか。
4 表記・表現及び 使用上の便宜等	ア 見出しや説明の文章等の表記・表現は理解しやすいか。 イ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等が活用されているか。 ウ 個々の児童の理解の程度に応じて学習する内容について編集上の区分がされているか。
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。 イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。 ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との関連	ア 教育基本法、学校教育法にのっとりた学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 「書写のかぎ」を解くという課題を解決しながら、学習に見通しをもって取り組むことで、主体的に学ぶことができるように編集されている。 ア 練習の途中や振り返りで、学んだことを話す活動を取り入れることで、対話的な活動ができるように工夫されている。
11 学 図	ア 日本の文字文化や生活の中の文字に関する資料を充実させることで、書写への興味、関心を高め、主体的に学ぶことができるように編集されている。 ア 友達と話し合いながら課題やその解決法を見つけるようにすることで、対話的な活動ができるように工夫されている。
17 教 出	ア 思考を促すような図版を載せたり、自分の硬筆文字を振り返る欄を用意したりすることで、主体的に学ぶことができるように編集されている。 ア 「書写の言葉」では、文字を評価するポイントを紹介し、活用を促すことで、対話的な活動ができるように工夫されている。
38 光 村	ア 目的意識や相手意識をもって取り組めるような教材を選ぶことで、学ぶ意欲を高め、主体的に学ぶことができるように編集されている。 ア 導入で課題を話し合う場を設定することで、文字の整え方の決まりを対話的な学習によって見付けられるように工夫されている。
116 日 文	ア 自分でめあてを決めたり題材を選んだりする場を設け、自分に合った課題を決め、主体的に学ぶことができるように編集されている。 ア 友達と話し合ったり、キャラクターの問いかけに答えたりすることで、ねらいを明確にすることができるように工夫されている。

観 点	着 眼 点
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 日常生活や他教科の学習で字を書く場面が豊富に取り上げられ、自分の思いをよりよく伝えようとする力を育むように工夫されている。
11 学 図	ア 「ふり返ろう」で、学習した決まりを生かして自由に書く欄を設けることで、自分の考えや思いを大切にしたい学びができるように工夫されている。
17 教 出	ア 「ふり返り 伝え合おう」ではグループで課題解決を行う内容が取り上げられ、友達の意見も尊重しながら自分の力を高められるよう工夫されている。
38 光 村	ア 身近な日常生活と関連の深い書く場面を取り上げることで、思考を働かせ、自分がイメージしたことを表現する力が身に付くように工夫されている。
116 日 文	ア 児童の目が社会に向くような題材を取り上げることで、よりよい未来の実現に向けて生きる態度を育むことができるよう工夫されている。

観 点	着 眼 点
3 内容 (1) 内容の選択	ア ねらいと内容は妥当であるか。 イ 教材の内容に工夫がされているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 単元ごとに「書写のかぎ」を設定し、ねらいを明確化・焦点化することで、確実に基礎・基本が定着するように配慮されている。 イ 国語科と連動させた言語活動が取り上げられ、児童が書写の学びを生かして効率的に学習できるように工夫されている。
11 学 図	ア 単元の構成と配列を工夫することで、反復練習に加え、課題解決に向けて思考力や表現力を働かせて取り組めるように配慮されている。 イ 硬筆において、実際に書き込むことのできる欄が多く設けられており、基礎・基本が着実に習得できるように工夫されている。
17 教 出	ア 「めあて」で示したことを「ここが大切」でより具体的に解説することで、基礎・基本が確実に身に付くように配慮されている。 イ 発達段階に応じて、全学年で手紙・はがきを書く活動を取り入れ、相手に伝える楽しさを実感できるように工夫されている。
38 光 村	ア 「たいせつ」で単元のポイントを、「振り返ろう」で自己評価の観点を示すことで、一貫性のある学びが展開できるように配慮されている。 イ 筆使いや運筆を表現するキャラクターを用いて、児童の学習意欲を高めるとともに、学びのポイントを意識できるように工夫されている。
116 日 文	ア 「考える」や「いかす」段階で、児童に親しみのある文字や言葉を選ぶことで、発達段階に応じた活動ができるように配慮されている。 イ 読書交流会等の「伝え合い」を重視した言語活動を取り上げることで、様々な学習活動や日常生活で書写の学びを活用できるよう工夫されている。

観 点	着 眼 点
3 内容 (2) 内容の程度	ア 内容の程度は、学年の発達段階や生活経験に合っているか。 イ 書体及び用筆等は、児童の学習に適しているか。 ウ 基礎的な技能や態度について配慮されているか。 エ 補充的な学習や発展的な学習等の内容は適切であるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 生活に広げる内容や学習機会が適切に設けられ、発達段階に応じて日常生活に関連付けられるよう工夫されている。 イ 伸びやかで明るい字体が用いられ、児童が学びやすいよう筆使いが朱墨と淡墨を使って示されている。 ウ 硬筆で課題を発見し、毛筆で書いて確認し、硬筆で別の文字に生かす構成にすることで、ねらいを意識して書く態度を養うように工夫されている。 エ 「文字のいずみ」で、文字の成り立ちや文字に込めた人々の思い等が紹介され、手書き文字のよさに気付けるように工夫されている。
11 学 図	ア ねらいにふさわしい学習内容が精選され、配当時間数の中で効率的に無理なく取り組めるよう工夫されている。 イ 硬筆・毛筆ともに同じ書き手により教材の文字が書かれており、児童の混乱を防ぎ、練習しやすいように工夫されている。 ウ 「確かめて書こう」「考えて書こう」「生かして書こう」「ふり返ろう」の四部構成となっており、基礎・基本が効果的に定着するよう工夫されている。 エ 日常生活に即した課題や興味をもって取り組めるような資料を取り上げることで、発展的な学習ができるように工夫されている。
17 教 出	ア 基礎・基本の習得から、目的や状況に応じた活用まで、発達段階に配慮した学習内容となるように工夫されている。 イ 硬筆・毛筆ともに、字体は平易で親しみやすく、筆使いが朱墨と淡墨で分かりやすく示されている。 ウ 運筆のポイントに気付かせるためのオノマトペやなぞる活動を取り入れ、適切に技能を身に付けることができるよう工夫されている。 エ 「レッツトライ」のコーナーを設けることで、書写で学習した内容を様々な教科や学校生活で生かせるように工夫されている。

<p>38 光 村</p>	<p>ア 身近なことから社会的な話題へと、発達段階に応じた教材を掲載することで、視野が広がるように工夫されている。</p> <p>イ 端麗で美しい字体が用いられており、筆使いが朱墨と淡墨を使って、分かりやすく示されている。</p> <p>ウ 穂先の動きをイラストで示したり、書写体操を取り入れたりすることで、基本的な技能を身に付けることができるように工夫されている。</p> <p>エ 学んだ技能を別の文字で練習したり、手紙の書き方や原稿の使い方を確認したりして、書写の技能を生活に生かせるよう工夫されている。</p>
<p>116 日 文</p>	<p>ア 言語感覚を育み、語彙力を高めるための学習内容が設定され、発達段階に応じて表現力を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>イ 硬筆・毛筆とも自然で明確な筆使いで、学習するポイントが捉えやすいよう工夫されている。</p> <p>ウ 「考える」「確かめる」「いかす」の流れが示され、段階を踏みながら学習することで、基礎・基本が確実に身に付くように工夫されている。</p> <p>エ 「チャレンジ」では、次の学年や中学校の学習内容を掲載し、発展的な学習に興味・関心をもてるように工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容 (3) 内容の構成	ア 内容の系統性・分量はどうか。 イ 硬筆と毛筆との関連のさせ方はどうか。 ウ ねらいに迫るための補助的な資料や練習する上での工夫はどうか。 エ 伝統的な言語文化に親しめるよう配慮されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 発達段階に合わせた教材が扱われ、既習事項を振り返りながら基礎的・基本的な事項を確実に習得できるように工夫されている。 イ 水書での運筆や筆圧の体験を硬筆に生かしたり、毛筆で学習したことを硬筆で確かめたりし、硬筆と毛筆の関連性を理解できるよう工夫されている。 ウ 「書写のかぎ」を意識させる展開にし、学んだ「書写のかぎ」を活用する場を設けて、主体的に学習を進められるよう工夫されている。 エ 文学的作品を書いて味わう活動や、文字の成り立ちや歴史に触れることにより、日本の文化を尊重する心を養うよう工夫されている。
11 学 図	ア 発達段階や学習時期に合わせた教材が扱われ、内容を精選するとともに、やや難しい文字にも挑戦できるような単元構成になっている。 イ 「ふり返ろう」では、毛筆で学んだ学習内容を硬筆で確認する構成となっており、基礎・基本の定着が図られるよう配慮されている。 ウ ためし書きで自分の課題を見つけ、まとめ書きで学びを定着させる展開が提示され、児童が目的意識をもって学習に取り組めるよう工夫されている。 エ 書写用具の作り方、文字の成り立ちや歴史、文学的作品のなぞり書き等を通して、日本の文化を尊重する心を養うよう工夫されている。
17 教 出	ア 発達段階に合わせた教材が扱われ、既習事項を振り返りながら基礎的・基本的な事項を確実に習得できるように工夫されている。 イ 水書での運筆や筆圧の体験を硬筆に生かしたり、毛筆で学習したことを硬筆で確かめたりし、硬筆と毛筆の関連性を理解できるよう工夫されている。 ウ 「ためし書き」「まとめ書き」の欄を設けて基礎・基本の習得を確かめ、教材や筆記具を選んで他の学習に応用できるように工夫されている。 エ 毛筆用具の作り方、文字の成り立ち、書き初めやかるた等に触れることにより、日本の文化を尊重する心を養うよう工夫されている。

<p>38 光 村</p>	<p>ア 発達段階に合わせた教材が扱われ、書写の学習の基礎的・基本的な事項が無理なく習得できるよう工夫されている。</p> <p>イ 水書での運筆や筆圧の体験を硬筆に生かしたり、毛筆で学習したことを硬筆で確かめたりし、硬筆と毛筆の関連性を理解できるよう工夫されている。</p> <p>ウ 書き込み式にして、ねらいを自ら考えるよう導くとともに、「たいせつ」でのまとめで、ポイントが確実に身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>エ 「もっと知りたい」では、文字の歴史や用具の製造過程等を取り上げ、書写についての興味・関心が高められるように工夫されている。</p>
<p>116 日 文</p>	<p>ア 発達段階に合わせた教材が扱われ、既習事項を振り返りながら基礎的・基本的な事項を確実に習得できるように工夫されている。</p> <p>イ 水書での運筆や筆圧の体験を硬筆に生かしたり、毛筆で学習したことを硬筆で確かめたりし、硬筆と毛筆の関連性を理解できるよう工夫されている。</p> <p>ウ 色を用いた囲みでねらいを端的に示すとともに、「できたかな」で自己評価することで、児童が主体的に練習できるよう工夫されている。</p> <p>エ 古典からの出典、文字の成り立ち、日本古来の色の名前の紹介等、伝統的な言語文化に興味・関心をもてるように工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
4 表記・表現及び 使用上の便宜等	<p>ア 見出しや説明の文章等の表記・表現は理解しやすいか。</p> <p>イ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等が活用されているか。</p> <p>ウ 個々の児童の理解の程度に応じて学習する内容について編集上の区分がされているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 学習を進める段階がマークで示され、課題を解決するポイントが表記されているので、学習する内容が明確になっている。</p> <p>イ 毛筆の写真を多く使用し、穂先の動き等を示すイラストを掲載して学習するポイントが視覚的につかみやすくなっている。</p> <p>ウ 「生活に広げよう」では日常生活や他教科にも生かせる内容を取り上げている。左ページ端に学習項目を入れて、「書写のかぎ」のページをすぐに確かめられるようにすることで、個に応じた学習ができるよう工夫されている。</p>
11 学 図	<p>ア 「確かめて」「考えて」「生かして」「ふり返って」という順に構成することで、学習の流れが分かりやすくなっている。</p> <p>イ 学習の流れが色別に示され、ポイントに関連したイラストや写真が効果的に配置されることで、学習の進め方が理解しやすくなっている。</p> <p>ウ 各学年に「学習の進め方」が示され、書き込みスペースや自己評価できる場等を通して個々の課題に応じた学習ができるよう工夫されている。「書写の資料館」では既習内容を生かした発展的な学習ができるよう工夫されている。</p>
17 教 出	<p>ア めあてを考えるポイントが「考えよう」のコーナーで詳しく説明されており、ねらいに沿った学習ができるようになっている。</p> <p>イ 筆使いや字形の整え方を確かめるポイントに合わせて、写真や図版が示されており、学習内容を視覚的に理解できるようになっている。</p> <p>ウ 「レッツ・トライ」では、日常生活の様々な課題を意識した学習ができるよう工夫されている。「書いて伝え合おう」では、個々の児童の興味・関心に応じて発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。</p>

<p>38</p> <p>光 村</p>	<p>ア 学習事項を簡潔に表した見出しと、その時間の学習課題を表した小見出しで、学習する内容が適切に表現されている。</p> <p>イ 学習のポイントがキャラクターの動きや図、オノマトペで示され、運筆や筆圧がイメージできるよう工夫されている。</p> <p>ウ 導入から理解、活用までの流れが明確に示され、ねらいに迫る学習が展開されるよう工夫されている。「もっと知りたい」では、児童一人一人の興味・関心に応じた書写の学習が深まるよう工夫されている。</p>
<p>116</p> <p>日 文</p>	<p>ア 見出しの下にめあてを表記し、「考える」「確かめる」「生かす」の順にステップを踏みながら学習できるよう工夫されている。</p> <p>イ キャラクターによる問いかけを効果的に使って学習のポイントが示され、自らめあてに迫ることができるよう工夫されている。</p> <p>ウ 「学習を生かす」では、題材を選ぶ場が設けられ、個々の興味・関心に応じた学習ができるように工夫されている。「国語の広場」では、国語科の学習との関連が、「生活と書写」では日常に生かすモデルが示されている。</p>

観 点	着 眼 点
5 印刷・造本等	<p>ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩等は適切であるか。</p> <p>イ ユニバーサルデザイン化が図られているか。</p> <p>ウ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 学年ごとに決められた色を基調として紙面がまとめられ、穂先の通り道を示した朱墨の色は鮮明に表現されている。</p> <p>イ 配色やデザイン、筆順や文字の組み立て方の色分け、教材文字の配置を工夫することで、児童が学習しやすいよう配慮をしている。</p> <p>ウ ビニル引きの表紙で、ステープラで止めて製本されている。半紙の縦横比率に合わせて、B5判より幅広になっている。</p>
11 学 図	<p>ア 全体を淡い色調で統一し、文字の組立てや中心線等には明るく鮮明な色を用いて、注意を引くように表現されている。</p> <p>イ ユニバーサル・デザインフォントを使用しており、教材文字と書き込み欄を上下に配置して、利き手を問わず練習しやすくなっている。</p> <p>ウ ビニル引きの表紙で、巻末に該当学年分の配当漢字表と原寸大の書き初め教材を入れ、ステープラで止めて製本されている。</p>
17 教 出	<p>ア 全体的に落ち着いた色調でまとめられ、学習のポイントには、児童の目が向くように鮮やかな色が配置されている。</p> <p>イ ユニバーサル・デザインフォントを使用しており、判読しやすい配色やレイアウトにすることで児童が学びやすいよう配慮されている。</p> <p>ウ ビニル引きの表紙で、巻末に2学年分の配当漢字表と原寸大の書き初め教材を入れ、ステープラで止めて製本されている。</p>
38 光 村	<p>ア 新出の筆使いが朱墨で書かれているなど気を付けるポイントが明確になっているとともに、めあて等も大きな文字で表されている。</p> <p>イ ユニバーサル・デザインフォントを使用するとともに、すっきりとした紙面構成で情報を精選し、児童が学びやすいよう配慮されている。</p> <p>ウ ビニル引きの表紙で、巻末に2学年分の配当漢字表と原寸大の書き初め教材を入れ、ステープラでとめて製本されている。</p>

<p>116 日 文</p>	<p>ア パステルカラーの優しい色合いを基調にし、手本の文字やねらい等の大切な内容が目立つように表現されている。</p> <p>イ 図の大きさや配色、手本文字の配置、補助線の示し方等工夫をすることで、児童が学習しやすいように配慮されている。</p> <p>ウ ビニル引きの表紙で、巻末に2学年分の配当漢字表と原寸大の書き初め教材を入れ、ステープラで止めて製本されている。</p>
------------------------	---

発行者・書名一覧

発行者の番号・略称	発 行 者	書 名
2 東書	東京書籍株式会社	あたらしい しょしゃ 一 新しい しょしゃ 二 新しい書写 三、四、五、六
11 学図	学校図書株式会社	みんなとまなぶ しょうがっこうしょしゃ 一ねん みんなと学ぶ 小学校しょしゃ 二年 みんなと学ぶ 小学校書写 三年、四年、五年、六年
17 教出	教育出版株式会社	しょうがく しょしゃ 一ねん 小学 しょしゃ 二年 小学 書写 三年、四年、五年、六年
38 光村	光村図書出版株式会社	しょしゃ 一ねん しょしゃ 二年 書写 三年、四年、五年、六年
116 日文	日本文教出版株式会社	しょうがくしょしゃ 一ねん 小学しょしゃ 二年 小学書写 三年、四年、五年、六年